

リハビリテーション治療学演習

[演習] 第1学年 前期 選択 2単位

《担当者名》 橋本竜作 hashi-ryu@hoku-iryo-u.ac.jp 大須田祐亮

【概要】

発達障害リハビリテーションの臨床実践方法は多様であるが、科学的根拠に基づくものは少ないのが現状である。本講では、発達障害リハビリテーションの対象となる疾患における、評価方法や介入方法などの臨床実践方法に関する文献のシステムティックレビューを行う。このレビューを元に発達障害リハビリテーションの臨床実践方法の課題を考察し、課題に対する科学的な検証方法について検討する。

【学修目標】

一般目標：発達障害リハビリテーションについて、科学的根拠に基づく評価方法や介入方法などの臨床実践方法と、その課題を理解する。

行動目標：

1. 発達障害リハビリテーションにおける評価法をエビデンスを基に評価できる。
2. 発達障害リハビリテーションにおける介入法をエビデンスを基に評価できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	講義の概要、学習目標・内容、スケジュール、学習方法の説明を行う。	橋本竜作 大須田祐亮
2~7	発達障害に対するリハビリテーション評価法に関するシステムティックレビューと報告	発達障害に対するリハビリテーション評価法に関するシステムティックレビューを実施し報告する。	橋本竜作 大須田祐亮
8~15	発達障害に対するリハビリテーション介入法に関するシステムティックレビューと報告	発達障害に対するリハビリテーション介入法に関するシステムティックレビューを実施し報告する。	橋本竜作 大須田祐亮

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

課題およびプレゼンテーション 100%

【教科書】

特に指定しない

【参考書】

特に指定しない

【学修の準備】

関連の文献等関係資料を各自調査し学習すること（80分）。

復習は、プリント、講義メモを活用して学習を深めること（80分）。

【実務経験を活かした教育内容】

橋本竜作（公認心理師）、大須田祐亮（理学療法士）